

ちば里山新聞

(第35号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
 電話 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの委託事業を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

「東日本大震災」は、これまでに経験の無い甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。ともに復興に向けて努力していきましょう。

地 域 懇 談 会 ・ 市 原

(平成 25 年 3 月 3 日 (日) 市原市民開会にて開催)

主催 ○特定非営利活動法人ちば里山センター ○千葉県

共催 市原市

協力 市原市内活動団体 15 団体

会場 市原市市民会館・会議室



発 表 団 体

炭友会、花と緑の会、NPO法人ユース・サポート・友懇塾、上総里山会、おとずれ山の会、アクション・グリーン、SaToYaMa よくし隊、桜さんさん会、椎津川上流を美しくする会、市原米沢の森を考える会、風呂の前里山保存会、南市原里山連合、房総森輪会、NPO法人市津・ちはら台自然楽校、いちばら里山クラブ (当日発表順)

「地域」の中での「里山活動」を多様な参加で考える「地域懇談会・市原」が市民会館会議室 3 階で開催されました。参加者 142 名。エントランスには団体紹介ブースがあり、賑わいを見せ、盛んに情報交換が行われていました。室内では、市原市内の里山を活動地としている 15 団体のメンバーから「活動報告・事例報告」が行われました。新井孝男理事のコーディネイトで進められ、どの報告も短時間に映像を駆使し、わかりやすい発表でした。特徴があり、大変興味深い内容で、最後の全体討議では、ぜひ里山活動をはじめたい、今日の発表から活動したい団体が浮かんできたなどの意見が出されました。新たな参加者を歓迎！今後、他のブロック地域での開催が期待されます。



さとやまクローズアップ

産学協働による里山活動



「里山活動協定」締結 「CO2 吸収量認証」

川崎汽船株式会社と特定非営利活動法人 千葉大学環境 ISO 学生委員会は、川崎汽船が保有する千葉県 成田国際空港近隣の遊休地において協働で里山保全活動を実施するため、2012 年 10 月に「“K” LINE の森 猿待塚 里山活動協定書」を締結しました。千葉県里山条例（2003 年制定）に基づく里山活動協定及び森林整備による CO2 吸収量について本年 2 月 5 日、千葉県から認定書の交付を受けました。日本の代表的な田園風景である里山は、近年のライフスタイルの変化により人手が入らなくなり、荒廃が進んでいると言われていています。川崎汽船は千葉大学環境 ISO 学生委員会との協働により、生物多様性の保全、良好な景観の形成、環境意識の啓発を目的として、ボランティア活動による里山保全に取り組んでまいります。「こんなに早く、しかも、大学生が里山活動を計測的に取り組むことになったことが素晴らしい」と双方からよろこばれています。今後の取り組みに期待しています。

下記が川崎汽船株式会社と特定非営利活動法人千葉大学環境 ISO 学生委員会の取り組む活動地の概要

<p>【里山の概要】</p> <p>所在地 千葉県山武郡芝山町</p> <p>面積 11,752m²</p>	<p>【CO2 吸収量認証】</p> <p>吸収期間：2012 年 11 月 1 日～2015 年 10 月 31 日</p> <p>CO2 吸収量：8.1 t-CO2 電力消費量に換算した場合、弊社本社オフィスの約 14 日分、一般家庭（家族 4 人）の 3.2 年分に相当します。</p>
---	--

川崎汽船株式会社 環境推進室 TEL03-3595-5764 NPO 法人千葉大学環境 ISO 学生委員会 TEL090-7430-7023



里山巡回相談 (その 2)

千葉県森林研究所 福島 成樹

里山巡回相談 (その 2)

12 月 16 日に第 2 回の里山巡回相談を行いました。今回、伺ったのは鴨川市で里山の整備活動を行っている鴨川里山を守る会です。巡回相談の内容は、整備を行っている嶺岡山系の北斜面で繁茂していたマダケ林を伐採したが、そこにどのような樹種をどのような方法で植栽したら良いか、というものでした。現地は山腹の上部で、周囲には棚田の地形が残っており、水分条件が良く表土も植栽に適した条件でした。地形的には、山腹上部であるために風当たりが強いことが予想され、気象害（風害）に注意が必要な場所と考えられました。樹種については、土地を所有するお寺の檀家総代さんと会の希望として、ケヤキや、どんぐりなどの雑木を植栽したいとのことで、どんぐりとしては周囲の植生からみて常緑広葉樹のスダジイ、アカガシ、アラカシ、ウラジログシ、マテバシイなどが適しており、土地の状況からみて、ケヤキも植栽が可能と考えられました。また、落葉広葉樹のコナラ、クヌギについても植栽は可能ですが、常緑広葉樹林化を止めるためには下刈りや除伐等の十分な管理が必要と考えられました。



植栽時期は、落葉広葉樹の場合は 3 月、常緑広葉樹の場合は 4～5 月が適期になります。植栽本数は、生産目的によって異なり、薪炭やシイタケ原木用に植栽する場合は、ヘクタール当たり 2～3 千本（反当たり 2～3 百本）、用材生産を目的とするケヤキの場合はその 10 分の 1 程度が目安になります。ただし、ケヤキの用材生産を行う場合は、搬出しやすい場所に植栽することが基本となるので、道路からの距離がある今回の植栽地では用材生産は難しいと思われます。その他の注意点として、植栽地がマダケ林だったことから下刈りや除伐を継続してしっかり行う必要があること、下刈りの際の誤伐を避けるため、苗木には目立つ支柱を立てることなどのアドバイスを行いました。

木質バイオマスの供給体制整備事業研修会 開催

〔 未利用伐竹材の搬出とバイオマス利用の取り組み 〕



千葉県農林総合研究センター
主席研究員 岩澤 勝巳



市原市環境部環境管理課
地球温暖化対策係長 石川 尋志



市原市のチップパー

平成25年3月11日（月）市原市南総公民館にて、「木質バイオマスの供給体制整備事業研修会」が開催されました。参加者68名、千葉県農林総合研究センター主席研究員 岩澤勝巳氏からの講演にはポータブルウインチによる場合、ポリカ波板シューター（修羅iido）による搬出方法についてですが、報告後の現地検討会では実際を見ることができました。講演後は具体的な質問が出るなど活発な研修会となりました。

また、市原市のバイオマスの取り組みについては市原市環境部環境管理課 地球温暖化対策係長 石川尋志氏が講演をされました。市原市の熱心な取り組みが分かりやすく解説され、研修会終了後に市原市のチップパー研修が行われました。早速、申し込みがあるなど、今後の取り組みに生かされていくことが期待されました。



里山とわたし

豊富どんぐりの森
ふなばしネイチャーゲームの会
鈴木 恵子

私の里山活動が始まったのは、平成13年の春、自然観察の友人から1通のメール「船橋で森づくりをしませんか」でした。何も考えずただ森には楽しいことがあると信じていました。当初はゴミの山で不当投棄の処理やアズマネササを刈るだけで3年掛かりました。森に通い様々な生き物とも出合いました。

真冬の朝、仲間から「森の広場でタヌキが死んでいる」と聞き慌ててその場へ行きました。タヌキは広場の真中に腹ばい状態で体長は50センチ位の若いタヌキでした。

さらに近付くと目を開け睨んでいる様子で、フーンと鼻息を上げ私を追い払うような感じがしました。

狸は、とても神経質な生き物で何か大きなショックを受けると放心状態になり動けなくなるようです。「狸寝入り」という言葉は、嘘ついて寝た振りをしているのではなく体が麻痺して動けない姿を現しています。狸寝入りという言葉は、江戸時代の文献にも見られる。狸は臆病な動物で、驚いた時には倒れて一時的に気を失い眠ったようになる。その後、頃合いを見計らって逃げ去ってしまうことから昔から狸は人を騙すと思われており、この姿を狸が人を騙すための空寝と考え、「狸寝入り」と喩えられるようになった。狸は昔から人里に現れることが多く身近な生き物だったようです。

豊富どんぐりの森 <http://toyotomidongurinomori.com/>



『緑の守り人』 イベント情報

季節を満喫しに、里山へ出かけよう！

春の山野草観察会 講師 君津亀山少年自然の家 細川美代子氏

開催日時 平成 25 年 4 月 21 日 (日) 午前 10:00 ~ (昼食後解散)
 開催会場 きさらづ里山の会 活動地 (木更津市笹子地先、アタックゴルフ付近)
 参加費 一般 1,500 円 (材料費・保険代込) 中学生以下 500 円
 申し込み連絡先 090-1850-5070 (柴崎) 4 月 15 日までお願いします。

第 37 回白井環境講座「日本人は森の民—森と私たちの関係—」 講師 太田猛彦氏 (東京大学名誉教授)

開催日時 平成 25 年 4 月 21 日 (日) 13:30 ~ 16:00
 開催会場 白井市保健福祉センター・団体活動室
 参加費 100 円 (資料代等)
 助成 財団法人イオン環境財団
 申し込み連絡先 047-404-3298 (月、水、土の 10:00 ~ 15:00)

第 10 回里山シンポジウム「里山、これまでの 10 年、これからの 10 年」

開催日時 平成 25 年 5 月 18 日 (土) 10:00 ~ 17:00
 開催会場 千葉経済大学
 参加費 500 円 (資料代)
 問い合わせ先 千葉県森林課 TEL 043-223-3630

第 10 回 2013 年テーマ
里山、これまでの 10 年、これからの 10 年
 2013 年 5 月 18 日 (土)
 千葉経済大学
 千葉県市川区西町 4 丁目 3-30
 記念講演『環境革命の時代が』
 里山と都市その現代的価値を巡って—
 潘井史郎(雅之) 東京都市大学教授
 国産・生物多様性の 10 年委員会・委員長代理
 【午前】プレシンポジウム
 里山と 4 つの「生態系サービス」
 ①野生生物・地域など「基礎サービス」
 ②森林・林業・食糧など「供給サービス」
 ③水循環・汚染物質・ゴミなど「調整サービス」
 ④医療福祉・教育・芸術・観光など「文化サービス」
 【午後】分科会発表
 里山と私たち、これからの 10 年
 パネルディスカッション
 里山に託す私たちの未来
 資料代 500 円
 主催：里山シンポジウム実行委員会 共催：NPO 法人ちば里山センター・千葉県
 後援：千葉経済大学・千葉市
 協力：NPO 法人千葉自然学校・公益社団法人千葉県緑化推進委員会

第 10 回 2013 年テーマ
里山、これまでの 10 年、これからの 10 年
 人と自然、そして文化とが調和・共存する持続可能な生態系の里山、それは生物多様性の宝庫であり私たちに多くの恵をもたらしてきました。千葉県では、その素晴らしさを守り伝えるため 2003 年 5 月 18 日、全国初の「里山条例」が制定されました。これを機にさまざまな人が一体となってはじめられた「里山シンポジウム」、今年は第 10 回目を迎えます。現在もなお課題の多い里山ですが、その取組の 10 年をふりかえりつつ、その素晴らしさを子どもたちの未来に伝えるため、多くの方々と一緒にこれからの 10 年を展望したいとおもいます。

全体会 2013 年 5 月 18 日 (土) 10 時 ~ 17 時
 会場：千葉経済大学 受付：千葉経済大学 2 号棟 1 階 ●総合司会…小倉久子

9:45 開場	14:40 記念講演 『環境革命の時代が』 —里山と都市その現代的価値を巡って— 潘井史郎(雅之) 東京都市大学教授 国産・生物多様性の 10 年委員会・委員長代理
10:00 プレシンポジウム [4 会場で同時開催] 里山と 4 つの「生態系サービス」 ①野生生物・地域など「基礎サービス」 ②森林・林業・食糧など「供給サービス」 ③水循環・汚染物質・ゴミなど「調整サービス」 ④医療福祉・教育・芸術・観光など「文化サービス」	15:30 質疑応答 休憩 (10 分)
11:30 昼休み (90 分) ※昼食は各自でご用意ください	15:50 パネルディスカッション 『里山に託す私たちの未来』 [パネラー：手塚幸夫・植田忠弘・桑波田和子・中村俊彦 コーディネーター：小西由希子]
13:00 挨拶 千葉経済大学・千葉市・千葉県	16:50 まとめ 金親博英
13:15 里山シンポジウム 10 年のふりかえり 里山シンポジウム実行委員会代表 金親博英	17:00 終了 特別展示 潘井史郎 原田眞「里山の四季」 松下優子 里山シンポジウムチラシ展
13:30 分科会発表「里山と私たち、これからの 10 年」 各分科会代表者から	
14:30 休憩 (10 分)	

交通アクセス
 会場：千葉経済大学 所在地 263-0221 千葉市市川区西町 13-30-3
 ■東西千葉駅下車→北口から徒歩 13 分
 ■東西千葉駅下車→北口 4 番バス乗場
 長瀬循環線車 千葉経済大学 下車
 ■千葉都市モノレール作楽駅下車→徒歩 5 分

記念講演講師
潘井史郎(雅之)
 東京都市大学教授
 国産・生物多様性の 10 年委員会・委員長代理

1945 年、神奈川県鎌倉市生まれ。
 造園家として、都市と自然の間におけるランドスケープデザイン作品を数多く手がけ、日本造園学会、国土交通省大賞等を受賞。
 『緑の守り人』編集委員、鹿子野中心地区、人と自然の空間的共存をテーマにした作品や計画に関わっている。今、この時代を『環境革命』『産業革命』に次ぐ人類第三の革命『生態系革命』の時代と捉え、地域環境問題、とりわけ生態系サービス(生物多様性)を語る人と自然の持続的未來へ、戦略的方針を探りつつ、『地球は思われたエディンでである』と説く。現在は、TBS「サンデーモーニング」(ANB「やじうまテレビ」)等でコメンテーターとしても活躍中。

問い合わせ先：千葉県森林課 TEL 043-223-3630
 会場：千葉経済大学

特定非営利活動法人ちば里山センター 総会

開催日時 平成 25 年 6 月 16 日 (日) 13:00 ~
 開催会場 きぼーる 15 階 多目的室 (〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 4-5-1)
 同日に学習会を予定しています。
 申込み、お問い合わせ先 特定非営利活動法人ちば里山センター事務局

特定非営利活動法人 ちば里山センター

袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 TEL 0438-62-8895 FAX 0438-62-8896

<http://www.chiba-satoyama.net/>

e-mail: info@chiba-satoyama.net

